

事業概要：広島かき採苗安定強化事業（スマート水産業推進事業）

申請者	広島県広島市				初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,358千円 (9,936千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目） 地場産業支援関連事業分野
目的・効果	<p>・広島県のカキ生産量は、全国第1位であり、その生産量を維持できる理由の1つに、夏季に広島湾でまとまった量の天然稚貝を確保（以下「採苗」という。）できることが挙げられる。採苗の安定化は養殖経営における最重要課題であるが、平成25、26年度に採苗不調が連続して発生し、これを受けて専門家から助言を受け、海域の栄養塩データを蓄積してきた。</p> <p>・採苗の安定化や分かりやすい情報提供等を推進するため、蓄積した栄養塩データを本市の水温等のデータと組み合わせて、デジタル技術やAIを用いた採苗予測等のシステムを作成し、スマート水産業の導入を図る。</p> <p>・当該事業により、採苗の安定化や勘に頼らないかき養殖業に繋がることで効率化等が図れ、生産量向上等の効果が見込まれる。</p>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>①漁場環境データ出力システムの作成</p> <p>・海況情報等のデータを基に自動でグラフ等を生成し、漁場環境を「見える化」したものを養殖業者が自身のスマホ等で瞬時に出力できるシステムを作成する。出力されたグラフ等を確認することにより、養殖業者は、これまで経験や勘に頼ってきた養殖作業の方針決定を海上等の現場でタイムリーに行えるようになる。</p> <p>②採苗AI予測システムの作成</p> <p>・蓄積した海域の栄養塩データ、カキ採苗調査データ（カキ幼生の分布状況等）及び気象・海流データ等を総合的に解析し、数日から数週間先の採苗傾向をAIで予測できるシステムを作成する。これにより、かき採苗の安定化を図る。</p> <hr/> <p>【ソフト事業】</p> <p>・システムの作成・改修等経費（委託料） 21,358千円</p>					
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①広島市のカキ[※]生残率（10% → 60%）※3年養殖のカキ</p> <p>②広島市のカキ生産額（+5%）</p> <p>③広島市の新規カキ養殖業就業者数（+3人）</p>				URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	調整中